

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

学校評価表作成について変更した点は朱書きしています

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	佐賀市立三瀬小学校
1 前年度 評価結果の概要	・学力向上や健康・体づくりについては、有効だった取組みを継続していくとともに、さらに、家庭との連携を工夫していくことで、児童が自ら学習に取り組む習慣作りや歯磨きなどの基本的な生活習慣の定着を図っていく。 ・児童数が減少していく現状を踏まえ、家庭や地域、中学部と連携し、三瀬の地域・自然・地域人材を活用して学習や行事を進めていくことで、三瀬を愛する心を高めるとともに、コミュニケーション力や、表現力の向上を図っていく。
2 学校教育目標	ふるさとを愛し自信と誇りをもち、未来を拓く子どもの育成 「学び・こころをつなぐ小中一貫教育の実践」

3 本年度の重点目標	① 9年間の学びをつなぐ小中一貫教育の取り組み ② 志を高める教育の推進 ③ 学力の向上（基礎・基本の充実）と自己教育力の育成 ④ 一人ひとりを大切に教育の推進 ⑤ 豊かな心を育む教育の推進 ⑥ 健やかな体を育む教育の推進
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目									
評価項目	重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価	
	取組内容	成果指標（数値目標）		進捗度（評価）	進捗状況と見通し	達成度（評価）	実施結果	評価	意見や提言
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師90%以上 ●市販テストの学級平均が期待平均点を上回るようにする。	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。						
	○自分の考えを持ち、深め、生かす授業の実践	○三瀬校授業スタイルを基本とし、振り返りの場を充実させる。振り返りの観点に沿って書くことができた児童の割合を8割以上にする。 ○「クラスの友達とて話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と回答した児童を75%以上にする。	・振り返りの観点について共通理解の場を設ける充実を図る。 ・「授業づくりのステップ1・2・3 Vol.2」を踏まえ、全教科半分以上の授業で自分の考えを「伝え合う場」を設定する。						
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「道徳の授業で、進んで考えることができた」と答える児童の割合を8割以上。 ○「道徳の授業によって豊かな心を育てている」と答える保護者の割合を8割以上にする。	・道徳の授業づくりの工夫を行う。 ・道徳の授業を年に1回以上保護者に公開する。 ・保護者アンケートを実施して、指導改善に役立てる。						
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○心のアンケートで「子どもの様子について不安なことはありませんでしたか」の問いに、「ない」と答える保護者95%以上。「嫌なことや悲しかったことがなかった」と答える児童95%以上とする。また、アンケートから得た事案については100%対応する。	・毎月末、保護者・児童全員に対し、「いじめ・いのちをかんがえる心のアンケート」を実施し、気になる事案があれば直ちに対応。SCと連携を図り、心のケアに努める。 ・児童支援、学級経営を円滑に行うため、QUテストおよび教育相談週間を2回実施する。						
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●先生はあなたのよいところを認めてくれると思う」と回答した児童生徒85%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上	①児童の良さが発揮できる教育活動を行い、認める声掛けをする。 ②キャリア/サポートの内容を工夫し、自身の姿や成長を自己評価したり、振り返ったりすることができるようにする。						
	○人権・同和教育の充実	○「いやなことや悲しいことがなく、学校は楽しい。」と答える児童の割合を8割以上にする。 ○人権意識を高める。	・「ぼかぼかの木」（良いところ見つけ）を実施する。 ・学期に1回、人権教室を実施する。 ・異学年集団による毎朝の登校班や縦割り班活動を実施し、交流を図る。						
●健康・体づくり	●「運動習慣の改善や定着化」 ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ●「安全に関する資質・能力の育成」	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で300分以上の児童80%以上 ※(小学校60%以上の数値で学校の実情に応じて設定) ●「健康に良い食事をしている」児童生徒90%以上 ●児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする	①縦割り班での活動や体育大会、縄跳び大会を実施する。休み時間の外遊びを奨励し個々の体力の向上を図る。 ②給食の時間等の指導を通して、食育を推進していく。 ③交通安全教室を開催し、安全な自転車の乗り方や歩行の訓練を行ったり、地区児童会、集団下校、学級活動の中で話をしたりする。						
	○基本的な生活習慣の定着	○毎週1回、全校一斉に生活チェックを実施し、「ハンカチ・ティッシュを持っている」「爪を切っている」「朝ご飯をたべている」のすべてが○の児童を9割以上にする。 ○1日3回歯を磨く児童を8割以上にする。	・毎週月曜日に、全校一斉に生活チェックを実施し、集計を行う。 ・学校歯科医と連携して、歯科保健指導を実施する。また、長期休業中の歯みがきカレンダーを作成し、1日3回歯を磨く習慣を定着させる。						
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・職員各自に時間外勤務の月平均40時間以内を目標に、タイムマネジメントを意識させる。 ・会議は時間厳守で、連絡事項等は簡潔に行い、また、長期休業中は、会議や研修を集中して行い、年休や教材研究、学級事務等の時間を確保する。						
	○ICTを効果的に活用し、業務の効率化を図る。	○保護者へのアンケートについて、WEBによる回答を実施する。	・「いじめ・いのちをかんがえる心のアンケート」(毎月)、学校評価(年2回)においてWEBによる回答を実施することで、意見の集約、対応の迅速化を図る。						

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目									
評価項目	重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価	
	重点取組内容	成果指標（数値目標）		進捗度（評価）	進捗状況と見通し	達成度（評価）	実施結果	評価	意見や提言
◎志を高める教育	◎ふるさと三瀬への郷土愛の育成	◎ふるさと学習を通して、「三瀬が好き」と答える児童を8割以上にする。	・地域人材を活用し、系統的なカリキュラムの実践。 ・体験活動、調べ学習を通して、自然・産業・歴史・環境に触れさせ、触れさせ、ふるさと三瀬を好きな児童を育てる。 ・三瀬村ふれあい祭りに参加し、地域との交流を図る。						
○小中一貫教育	○小中合同行事の充実	○小中合同の行事、体験活動が「楽しかった」という児童の割合を8割以上にする。 ○小中の学びの過程、学習の規律を構築する。9年間を見通した学習スタイルおよび生活面で連携し、徹底を図る。	・行事ごとに感想を書かせる。縦割り班での振り返りを掲示板に貼り交流を深める。 ・「三瀬スタンダード」を掲示し、学期ごとの自己評価を行わせる。						

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------